

沖縄県名護市



主 催 : 公益財団法人どうぶつ基金
共 催 : 沖縄県名護市
協 力 : 琉球ワンニャンゆいまーる
期 間 : 平成27年11月30～12月2日 (手術日)

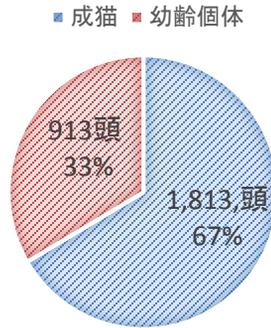
地域の特徴

【沖縄県の現状】

区分 自治体名	猫									
	引取り数				処分数					
	飼い主から		所有者不明		返還数	返還数 のうち 幼齢個体	譲渡数	譲渡数 のうち 幼齢個体	殺処分数	殺処分数 のうち 幼齢個体
	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体						
沖縄県 (那覇市を除く)	65	50	1857	927	10	0	150	53	2,726	913

沖縄県(那覇市を除く)では平成25年度
1年間で2,726匹の猫を殺処分を行っている。

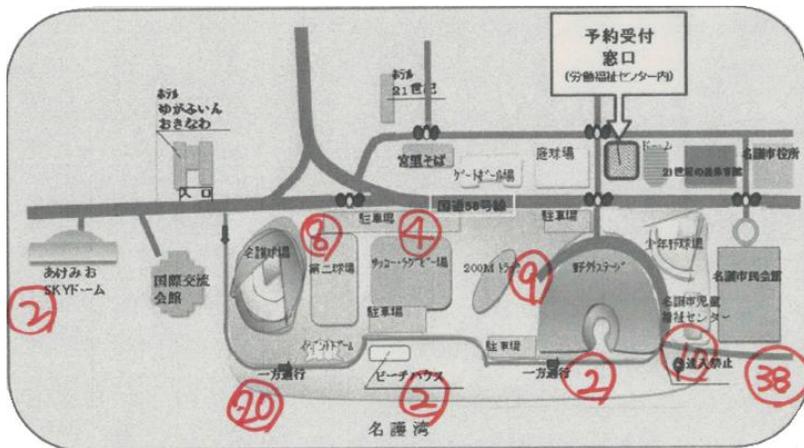
殺処分数の割合(沖縄県)



【TNR該当地域の状況】

約21.39haの大規模な都市公園となっており、施設内に市営球場を初めとした公共施設が建築されている。野良猫は公園内にまんべんなく見られ、公園に隣接した21世紀の森ビーチ付近は特に顕著である。(申請書より抜粋)

【ねこマップ(申請書類より)】



申請事業の背景・必要性及び目的

沖縄県名護市が管理する21世紀の森公園では、近隣施設や公園利用者から野良猫の糞尿による臭い、「餌やりさん」が与えた餌の食べ残し等の苦情が寄せられている。

また、野良猫、特に行き場のない子猫の殺処分数を減らす必要があり、そのためにむやみな猫の増加を防ぐ必要がある。

さくらねこ無料不妊手術事業を受け、上記の問題解決や野良猫に関わる公園利用者のマナー向上を図り、人にも動物にも気持ちよく利用出来る公園作りに努めて行きたいと考えている。（申請書より）

名護市からの申請を受け「さくらねこ一斉TNR無料不妊手術」を名護市が管理する21世紀の森公園にて実施することとなった。



手術会場及び猫保管場所

手術会場：名護市労働福祉センター



猫の保管：名護市労働福祉センター



捕獲器及使用台数

捕獲器所有者	使用台数
琉球わんにゃんゆいまーる	25
合計	25

スケジュール

11月30日（月）	
12:30	那覇空港到着
14:30	会場到着・設営
14:40	ミーティング
14:50	手術開始
16:30	手術終了
17:90	撤収完了・終礼

12月1日（火）	
8:50	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼休憩
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

12月2日（水）	
8:50	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼休憩
13:10	名護市長表敬訪問
13:50	手術再開
16:30	手術終了
17:00	撤収完了・終礼

協働人員数（手術日）

期間	どうぶつ基金	名護市	ボランティア	合計
11月30日～ 12月2日 各	スタッフ3名 獣医師2名	1名	15名	延べ63名

手術集計

TNR数

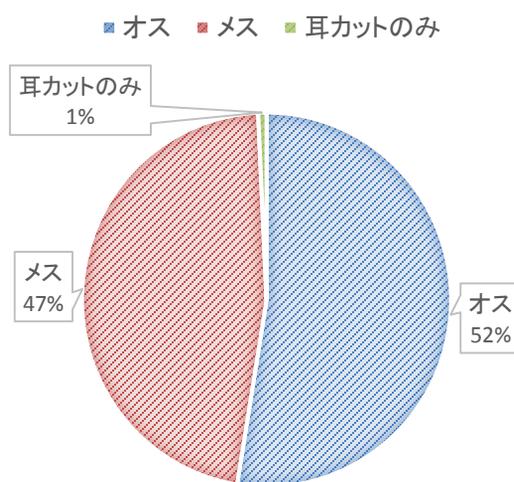
	オス	メス	耳カットのみ	計
11月30日	9	12	0	21
12月1日	45	34	1	80
12月2日	18	18	0	36
計	72	64	1	137

全頭に実施

ノミ・ダニ・回虫の駆除（レボリューション）、ワクチン、点眼、補液50cc

毛色統計	
茶トラ	32
キジトラ	21
さび	10
茶白	4
キジ白	9
三毛猫	8
白	4
黒	26
白黒	8
グレー	0
白灰	3
サバトラ	2
白サバ	1
その他	9

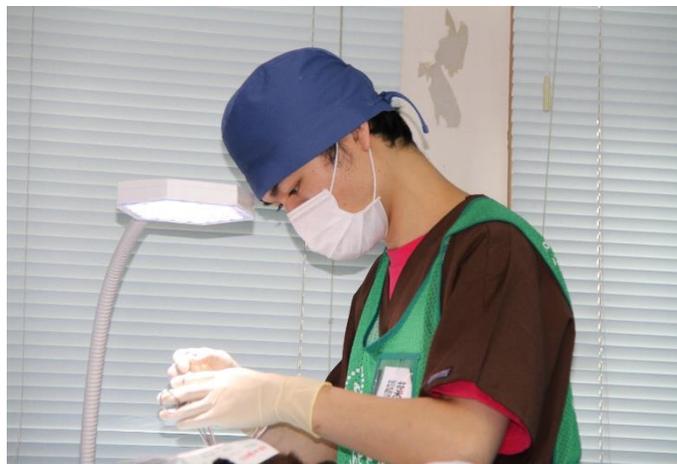
手術割合（名護市）



執刀医



山口武雄獣医師（どうぶつ基金顧問）



稲葉獣医師



石井獣医師（ボランティア参加）

手術会場の様子



1. 朝礼

手術開始前に、毎朝朝礼を行う。



2. 手術準備 (タグ管理)

管理タグを猫のケージにつけて、手術に備える。今回は、6頭ずつ手術室に搬入した。



3. 手術準備 (タグ管理)

管理タグがついた猫に、安定剤、麻酔、抗生剤、ワクチン、ノミ・ダニ・回虫の駆除 (レボリューション) を注射や投与していく。

手術会場の様子



4. 耳カット毛刈り・ノミ駆除
手術する前に、みみ先カット（さくら耳）、毛刈りを行う。



5. 不妊去勢手術



6. 術後ケア
手術が終わった猫には、補液、目薬、耳掃除を行う。

手術会場の様子



7. 安静

手術が終わった猫はケージに戻り
麻酔から覚めるまで安静にする。



8. リターン

翌日、麻酔が完全に覚めてから
捕獲された場所にリターンされる。



9. 子猫の保護

手術ができない低体重の子猫はボラン
ティアに手分けして保護され、里親探
しを行う。

名護市長を表敬訪問

12月2日13時15分から、どうぶつ基金スタッフ、獣医師、琉球わんにゃんゆいまーの方々と、名護市稲嶺進市長を表敬訪問した。さくらねこTNRを成功させるため、継続的なさくらねこTNRの実施と、市政だより等を活用し、広報への協力を依頼した。



市長室にて

市政だよりの活用

名護市の「市政だより」に、3度にわたり事業内容が掲載されました。

不幸な子猫を減らしましょう
～21世紀の森公園の野良猫について～

市内の公園、特に21世紀の森公園には多くの野良猫が見られます。

沖縄県の動物殺処分数は全国で第3位。殺処分される約7割を猫が占めており、その多くが生まれて間もない子猫たちです。これらの大きな原因は、

- ① 飼い猫の避妊・去勢手術を行わず放し飼いをしている事
- ② 産まれてきた子猫を飼いきれず捨ててしまう事
- ③ 捨て猫が繁殖してしまう事が挙げられます。

動物の遺棄・虐待は犯罪行為です。不幸な子猫たちを減らすため、飼い主は動物の幸せ、社会に対する責任心がけましょう。



問 財産管理課 施設管理係 ☎ 53-1212(内線243)

市政だより9月号

さくらねこ無料不妊手術事業のポランティア募集

問 財産管理課 施設管理係 ☎ 53-1212(内線243)

21世紀の森公園周辺に生息する飼い主の居ない猫に対する不妊去勢手術事業を実施します。

実施機関 11月29日(日)～12月4日(金)

内容 21世紀の森公園周辺の猫の捕獲作業を行い、獣医師による不妊去勢手術を行ないます。

※ポランティア、里親募集会場設営や捕獲作業など、お手伝いできる方は左記にご連絡ください。(琉球わんにゃんゆいまーる ☎090・8293・7388(担当:比嘉) 猫の遺棄を見かけた時は財産管理課、または警察への通報をお願いします。)

市政だより11月号

RBC 沖縄放送の取材

RBC沖縄放送名護市局から取材にこられ、どうぶつ基金佐上理事長が答えた。



取材を受けるどうぶつ基金佐上理事長

メディア掲載（沖縄タイムス）

イ ム ス

野良猫137匹不妊手術

名護市依頼 殺処分回避図る

【名護】どうぶつ基金（兵庫県）は11月30日から2日までの3日間、市21世紀の森公園周辺で捕まえた野良猫137匹の出張不妊手術を行った。増え過ぎて殺処分になるのを防ぐため、猫は施術の翌日に元の場所に戻した。市の依頼を受け、費用は基金が負担した。

どうぶつ基金が出張

不妊手術をすると発情期の「おしっこもなくなり、市民の鳴き声やマーキングのための「苦情が減るといふ。

手術をした猫は印として耳をV字型に切り、桜の花びらのように見えることから、基金は「さくらねこ」と呼んでいる。

県内での出張手術は石垣市・沖縄市に次いで3カ所目。佐上邦久理事長は「経験上、5年たつと猫が増えて元の

もくあみになる。行政とボランティアが残った猫の不妊手術を続けてほしい」と要望した。

県内の4団体でつくる琉球わんにゃんゆいまーるが協力。今後も公園周辺で捨て猫のバトロールなどを続ける。組織に属さないボランティアも含め、連日約30人が手伝った。

その一人、南風原とずえさんは「不妊手術は完璧な解決策ではないが、猫、好きな人、嫌いな人の間を取った解決策にはなるのではないか」と話した。

不妊手術を受ける野良猫。2日、名護市労働福祉センター



OKINAWA TIMES

沖縄タイムス

2015年12月15日 火曜日
 (平成27年) 【旧11月5日・先負】

発行所 那覇市久茂地2丁目2番2号
 (郵便番号900-8678) 沖縄タイムス社
 私書箱 那覇中央郵便局293号©沖縄タイムス社 2015年

(日刊)

2015年(平成27年)

12月11日 金曜日

[旧11月1日・大安]

発行所 琉球新報社
〒900-8525那覇市天久905番地
電話 098(865)5111
©琉球新報社2015年

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第38399号

麻酔を打った猫にワクチンを接種する獣医とスタッフ
11日、名護市の労働福祉センター



野良猫137匹不妊手術

どうぶつ基金「一代の命見守って」

【名護】公益財団法人どうぶつ基金が11月30日から12月2日まで、名護市の21世紀の森公園にすみ着く野良猫137匹の不妊手術を無料で実施した。同基金による猫の不妊手術は県内で3回目で、同公園の猫の不妊手術は初めて。

名護21世紀の森で初

どうぶつ基金は、日本各地で自治体や病院などと連携し、無料で猫の不妊治療を実施している。今回は野良猫の苦情などを受けていた名護市が同基金に要請し、市が場所を提供した。獣医師3人とスタッフ3人が施術に当たったほか、地元のボランティア「琉球わんにゃんゆいまーる」のメンバーも猫の捕獲や施術の作業を協力した。

生息状況を確認。猫の餌やりをしている人に声掛けなどをした。

同基金の佐上邦久理事長は「野良猫の盛り声やふん尿の苦情が多いが、不妊手術をすることでほとんどが抑えられる。公園で耳に切れ込みが入った猫を見つけたら、一代限りの命であるということとを分かって大事にしてほしい」と話した。



沖縄県名護市

- 主 催 : 公益財団法人どうぶつ基金
共 催 : 沖縄県名護市
協 力 : 琉球ワンニャンゆいまーる
期 間 : 平成27年11月30～12月2日 (手術日)